

# アンネのバラ

本校の校庭に咲いている「アンネのバラ」。  
このバラは、ベルギーの育苗家、デフォルグ氏の作出したバラです。

アンネ・フランクと同年齢でナチスの占領を経験した氏が、戦争に反対し平和を願う心をこめて作出したそうです。赤いつぼみが黄・オレンジ・ピンクへと変化する花には、失われた少女の才能が途中で奪われなければ多様な開花をしたらろうという思いが込められていると言われています。

作出者が販売を禁止したため、現在、ヨーロッパではこの花が絶えてしまっています。日本では、聖イエス会がアンネの父オットー氏より贈られた苗を増やして全国に送り、各地で大切にされています。この貴重な苗木が、縁あって本校の校庭にも植えられ、毎年、目を楽しませてくれるようになりました。

このアンネのバラにちなんで、一年生ではアンネ・フランクと人権について、本校独自の「は〜とふる学習」の一環として学習しています。

